

未来を開く

長井市立長井北中学校 No27 令和6年10月16日

第43回創立記念式を挙行

10月14日は、長井北中学校の創立記念日です。今年度は、祝日（スポーツの日）にあたり休業日と重なることから、10月11日（金）に式を挙行しました。43年の歴史と伝統を基盤に、更なる学校づくりを決意する式となりました。

《校長式辞より》 抜粋

本校は、長井・致芳・西根の3校分離統合により、昭和57年4月1日に、生徒数683名、18学級、教職員数32名で長井市立長井北中学校として創立されました。開校当初は、旧長井中、致芳中、西根中の制服に加え、新生北中の真新しい制服が混在し、一見まとまりのないような独特の雰囲気があったと聞きます。現在は、そこにブレザー型の制服が加わっています。

創立記念式には、学校の原点に立ち返り、今を見つめるという意味があると私は考えます。今年度は、開校当時の生徒会長であり、現在の同窓会長である松木宏史氏が、開校にあたって述べられた決意の言葉の一部を紹介します。タイトルは、「フロンティア精神」です。

「私たちは、多くの期待にこたえていかなければなりません。言うなれば、私たちは“開拓者”です。これから、この私たちが開拓していくのです。体育館正面に掲げられている『北中の子、心は一つ』のスローガンのご

とく、北中生683名が心を一つにし、大きな目標をめざしがんばっていきたいと思います。そして長く誇れる校風と伝統を築いていく決意です。」。このように述べられています。

松木さんを初めとする第一回卒業生以降、昨年度まで延べ7066名の卒業生が北中の開拓者となり、現在の校風と伝統が築かれてきたわけです。

今の開拓者は誰ですか。そう258名のあなた達です。皆さんが校風と伝統を築いているわけです。

創立から43年目の今、昨年度行った頭髪に関する校則の改正、今年度からのブレザー型制服の導入、部活動の任意加入制への変更など大きな変化の時を迎えています。そこには、社会全体に流れる一人一人の多様性を尊重するという考えがあります。しかし、ここは学校です。多様性を尊重することは、何でも自由ということではありません。学校は、一人一人が安心して生活ができ、みんなで学習したり活動したりすることで、一人一人が生きるための力（学ぶ力、社会性、健康な心身）を伸ばすことができる場所でなければなりません。そのための校風であり、伝統です。

初代生徒会長の松木さんが述べられた「長く誇れる校風と伝統」を築くことが今できていますか。学校づくりに終わりはありません。生徒会スローガン「Vivid」の下、「たくましいからだたくましい心で 常に伸び行く北中生」となり、更に一つ上を歩む「長く誇れる校風と伝統」を築く決意を新たにしましょう。



《生徒代表の言葉より》 抜粋 生徒会長 色摩 倫 さん

四十三年、その歴史の長さ、私はとても重いものを感じます。今年、長井北中学校は、さまざまな「変化」がありました。まず、改正された、新しい校則での生活が始まりました。ジェンダーの視点から、頭髪のきまりが変わり、これまで以上に、どんな頭髪が適切なのか、一人ひとりの正しい判断力と決まりを守ろうとする規範意識が求められるようになりました。そして、制服の選択制や部活動の任意加入制…と、学校での過ごし方や放課後の過ごし方を自分の意志で選択することができるようになりました。そんな「変化」とともに迎えた今年度、私たち北中生は、「Vivid」を生徒会スローガンに掲げて生活しています。このスローガンには、全校生一人ひとりが、自分らしい色で輝けるように、そして、誰もが安心して生活できる、全校生にとって居心地のよい学校を創っていききたい、そんな願いを込めています。

多様性が大切にされるようになった今、「変化」の多い今だからこそ、一度立ち止まって、「尊重すること」について、全校生で真剣に考えていきたいものです。相手を「尊重する」とは、どのようなことなのでしょう。「尊重する」とは、辞書で引けば、「相手の考え方、意見、感情、個性などを大切に、価値を認めて敬意を払うこと」…。相手を尊重



することの大切さは、ここにいる誰もがわかっていることだと思います。「一生懸命頑張っている人を、本気になって応援すること」、「相手をいたわる声掛け」、「困難に遭遇しても、みんなで分かち合い、補い合うこと」、「相手を否定せず、困ったときは一緒になって考えること」…。昨日、感動あふれる運動会を創り上げるのできた私たちならできるはず。あとは、一人ひとりが「確実に」そして「自分から」行動に移すことができるかどうか…。春に全校生で約束した、相手を「尊重し合う」ことを通して「誰にとっても居心地のよい学校」を創り上げる手がかりは、私たち北中生一人ひとりの、心の中と行動にあります。

さらに、「誰にとっても居心地のよい学校」を目指していくために、「あいさつ」も大切にしていきたいものです。「元気」「笑顔」「会釈」「自分から」を、四つの柱としたあいさつは、これまでの先輩方が受け継いでくださった北中の伝統でもあり、学校の重点として掲げる北風活動の一つでもあります。北中のよさである「あいさつ」とその伝統を、今年度も継承していくためにも、全校生のあいさつの向上を図れるよう、さまざまな取り組みを行っていききたいと思います。

私たち北中生は、今、さまざまな「変化」の中で生活しています。日々の生活の中で「変化」はあっても、全校生一人ひとりが思いやりの心を持ち、互いに助け合ってよりよい長井北中学校を創り上げていくこと、そのために、一人ひとりが努力していくことをお約束し、生徒代表の挨拶と致します。

【42年前に製作された「北中と西山」】

